

海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）

資料名	知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書
調査主体	環境省
評価項目	3. 遺産登録時の生物多様性が維持されていること
管理目標	遺産登録時（現状並み）時点の生態系の状態を維持
モニタリング項目	特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握
評価指標	分類群ごとのインベントリ、生息密度、分布など
評価基準	登録時の生息状況・多様性を下回らぬこと

<平成20年度までの具体的調査手法>

2008年の調査は6月、9月および11月に、知床岬先端部付近を含む半島の両側を対象として岩礁潮間帯、潮下帯および砂浜において実施した。採集は、魚類、海藻類および無脊椎動物を対象とし、タモ網やピンセット、ヘラ、地引網等で行った。定量調査は貝類を対象とし、50×50cmの方形枠を使用し、枠内の種別個体数を計数した。

<平成20年度までの具体的調査データ例>

海藻類に関しては、2006、2007年の両年で、計94種の生育を確認した。2008年の調査により、緑藻シリオミドロ・エゾミル、褐藻ホソエゾフクロ・ウイキョウモ・ハバダマシ・コンブモドキ、紅藻ウップルイノリ・ワツナギソウ・エンドウイトグサ・ショウジョウケノリを新たに加え、計104種の生育を確認することができた。北海道大学理学部植物学教室のグループにより1967年から1970年にかけて半島東岸に重点を置いた詳細な調査で確認された約130種と本調査で確認した104種について整理すると、知床半島沿岸域に生育する海藻類の種数は142種となった。

無脊椎動物に関しては、2006、2007年の両年で、軟体動物門50種、環形動物門多毛類11種、節足動物門甲殻類23種の計84種を確認した。2008年の調査で、刺胞動物門4種、触手動物門2種、扁形動物門1種、軟体動物門11種、環形動物門6種、紐型動物門1種、星口動物門1種、節足動物門44種、棘皮動物門9種など計79種が新たに確認され、これまで3年間の調査で計163種を確認することができた。

魚類に関しては、2006、2007年度の両年で、9目25科86種の生息を確認したが、2008年度の調査で未同定種2種を含む8種が新たに確認され、合計で10目7科94種になった。今年度に新たに確認された種はウグイ、キツネメバル、ハコダテギンボ属の1種、アゴハゼ、タウエガジ属の1種、ヒラメ、マコガレイおよびクロガシラガレイである。1990年代に斜里町を中心に実施された魚類採集調査、および2001年までに斜里町立知床博物館に持ち込まれた標本を整理すると知床半島沿岸域から確認された魚類は223種であった。これらの種に加え、2002年以降に斜里町立知床博物館に持ち込まれた標本、および3年間にわたる本調査結果で採集した魚類を整理すると264種が知床半島沿岸域から確認されたことになる。

定量調査では、3綱7目11科11属の貝類が観察された。2008年調査における出現種数を2007年5月調査、および2007年8月調査とそれぞれ比較したところ、いずれの調査期および調査地においても、2種以内の増減であった。調査地と出現種の関係は種ごとに異なっており、例えばクロタマキビは本調査の全調査地で観察されたが、ノミハマグリは羅臼側の化石浜、相泊、サシルイでのみ観察された。また、ムラサキイガイ類は、

ウトロ側のチャシコツ崎と半島先端部の文吉湾以外では出現していなかった。これはコドラートがパッチ状分布を捉えていなかった可能性があるが、調査地と出現種の関係は、2007 年までの調査とほぼ一致しているため、コドラート内で出現しなかった種の個体数は、出現した種に対して、相対的に極めて少ないと考えられた。

<コメント>

- ・ H19 年度と H20 年度の調査結果を比較した結果、コンブモドキ等の海藻類の生育については、流氷の接岸頻度等が大きく影響しており、出現種の年変動が大きいことが観察された。従って、今後のモニタリングの際には複数年の連続した調査を実施することが必要である。

- ・ 貝類の分布域を寒流系の種が 73 %、暖流系・広域種が 27 %であり、知床半島の貝類相は寒流系の種類で構成されることが明らかである。また、厚岸、根室湾、野付湾と比較すると、種組成はほとんど変わらないが、分布水深が全く異なっていることが確認された。

- ・ 海産無脊椎動物については本調査でもまだまだ未確認の動物種が多く、継続的な調査実施が求められる。

- ・ 流氷がムラサキイガイ類やノミハマグリの付着基盤である海藻を削りとっている可能性があり、岩石潮間帯の群集構造に流氷による攪乱が作用している可能性が考えられた。

<評価>

H20 年度までの調査は浅海域の生物相の現状を記録することを目的としており、具体的な評価は困難。